

健康福祉分野 政策 2 「いきいきと暮らせる障害者福祉の充実」

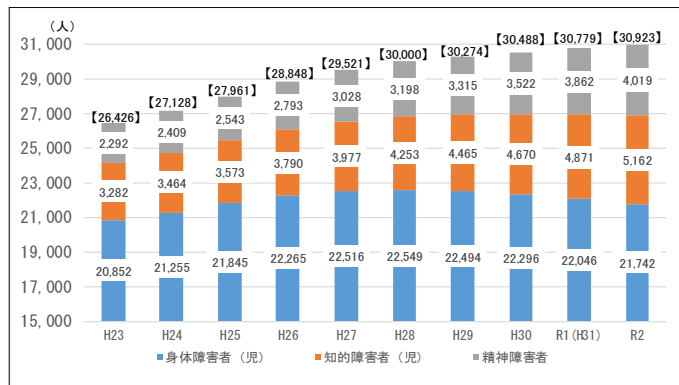
目指す姿

障害者が住み慣れた地域で充実した日常生活を送ることができている。

【現状と課題】

- 高齢化の進行や、障害への理解が進むことにより障害認定を受ける人が増え、障害者手帳所持者数が年々増加傾向にあり、加えて、障害の重度・重複化も進んでいます。一方で、相談支援の従事者をはじめ、障害者を支える福祉人材の確保が困難になっています。
- 障害者自身やその家族の高齢化、核家族化をはじめとする家族形態の変化を含む様々な要因により、家庭内における介助、支援機能が低下するなど、障害者を取り巻く環境が大きく変化しています。
- 平成 25 年（2013 年）4 月に障害者総合支援法が施行され、障害者の自立と社会参加の重要性がより認識されるようになり、障害種別に捉われないことなく個人の特性に応じた支援が求められています。
- 障害を理由とした差別や不当な扱いを受けることがないよう、障害者に対する虐待防止や差別の解消、合理的な配慮などを通じて、障害者の権利を擁護していくことが求められています。

※関連データ：姫路市障害者手帳所持者数の推移



(資料) 障害福祉課調べ（各年度 4 月 1 日時点）

【目指す姿を実現するための方向性】

人	<p>ア 障害福祉人材の確保・育成 障害福祉サービスを安定的に提供できるよう、障害福祉サービスに携わる福祉人材をはじめ、障害者を支える多様な人材の確保・育成を図ります。</p>
地域	<p>イ 障害者を支える地域づくりの推進 障害者自身やその家族が身近に相談や介助などの支援を受けることができるよう、障害福祉に携わる関係者のほか、医療・保健・教育に携わる関係者、住民、ボランティアなどの多様な主体が連携し、障害者を支える地域づくりに取り組みます。</p>
活 力	<p>ウ 障害特性に応じた支援の充実 乳幼児期から成人期まで一貫した療育支援、障害者の意思に基づいた障害福祉サービスの提供など、障害者一人ひとりの障害特性に応じた支援の充実を図ります。</p>
	<p>エ 障害者の自立と社会参加の促進 障害者自らが選んだ暮らし方を実現できるよう、雇用・就業に向けた支援や外出支援、スポーツ・文化活動への支援などを通じて、障害者の自立と社会参加を促進します。</p>
	<p>オ 先進的技術を活用した障害者福祉の促進 障害者の自立や社会参加、介護者の負担軽減を図るため、介護ロボット等を活用した日常生活支援、自動走行車等を活用した外出支援など、AI やロボット、IoT といった先進的技術の積極的な活用を促進します。</p>
土 台	<p>カ 社会的障壁のない環境づくりの推進 障害の有無に関わらず、安心して暮らせる社会となるよう、障害への理解の促進、権利擁護、バリアフリー化など、社会的障壁（バリア）のない環境づくりに取り組みます。</p>

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 障害の特性に対する理解を深めるとともに、声かけや手助けなど自分にできることから行動を起こしましょう。
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 障害者が地域活動に参加しやすい環境づくりに取り組みましょう。 ➢ 地域全体で障害者を支え、助け合いましょう。
企業・団体	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 障害者の雇用を促進しましょう。 ➢ 障害者が安心して働くことができる環境づくりに取り組みましょう。